

Effects of extrathoracic mechanical ventilation on pulmonary hypertension secondary to lung disease

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-08-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 庸子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00031922

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2930 号	氏 名	佐藤 庸子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	玉置 淳	
論文審査の要旨（400 字以内） 今回の研究対象となった体外式呼吸補助装置は、胸腔内圧をより陰圧とすることにより患者の吸気仕事量を軽減し、ひいては呼吸困難感や息切れ、低酸素血症などを改善することが可能である。学位申請者は、かかるデバイスの原理を正確に理解しており、肺高血圧患者への応用を試みた結果、上記のような期待された効果がもたらされることを見出した。審査の過程で、本装置の仕組みとともに換気に与える影響、肺・胸郭の動的コンプライアンスとの関連、低酸素血症及びCO2ナルコーシスが改善するメカニズムなどについて質問し、いずれも的確な回答が得られた。また、従来の治療法である非侵襲陽圧呼吸（NPPV）と比較した場合の長所と短所、実際の臨床応用と今後の普及へ向けた課題、装置を装着して治療を行う場合の継続期間、本治療を終了した数週間においても臨床効果が持続している機序、などについても質問し、これらに対しても十分理解していることが確認できた。従って、本研究は臨床的にも非常に価値の高いものであり、今後の発展がおおいに期待できるものと判断した。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）[学校教育法学位規則第 8 条]			